**「テープカット進行の手引き」**

【セッティング】

・パンチカーペットを敷く（「両面テープ」注意してご使用下さい）

　※実際の使用までは靴で乗らないように。

・「金ポール」を置く（リボン付ける）

・「紅白テープ」を金ポールに設置する（適当な長さに切ってご使用下さい）

・センターリボンを紅白テープにつける

・黒盆に「胸リボン」「金バサミ」「白手袋」を用意する。

【実際の式典の流れ】

※代表者の挨拶等が終わった最後に、「テープカット」を行なうのが通例

※予めテープカットされる方を所定の場所に集めておいて下さい。

（この時「白手袋」をお配りして、「入場前」にセットして頂くのがよいでしょう）

（下記はイメージです）

※「 」は司会者の言葉

うまく間を取りながら進行して下さい。司会者さん次第で式典は決まります。

「それではテープカットに移らせて頂きたいと思います」

「これから順番にお名前のほうを申し上げますので、呼ばれた方から壇上にお上がり下さいませ。

※並ぶ位置は事前に決めておく。誘導係りを決めておくこと。

※並び方につきましては、一番偉い方を中央にして、下記の順番が通常です。

例）<5人の場合> 5ー3－1－2－4（正面向かって）通常は1番から偉い方順

・「○○会社代表取締役社長　○×△様」

※テープカットの人数分続く・・・

入場の際に、ハサミをお渡しする。

※黒盆係り×1名、お渡しする方1名

※並ばれてからハサミを配ると間が出来るためこのほうが良いと思います。

「それでは皆様ご準備はよろしいでしょうか？」

「それでは写真撮影がございますので、撮影される方は前のほうへお越し下さい」

※マスコミ用の定位置を決めておくと良いです。（ガムテなどで予めバミっておく）

写真撮影

「はい、それではテープカットに移りたいと思います。」

「合図と同時にテープをお切り頂きますようお願い致します」

「2006年○月○日、○○主催、○×オープニングセレモニー　テープカットです！それでは！・・・どうぞ！！」

カット!

※お客様に向かって、右利きの方はテープの右、左利きの方はテープの左をカットして頂きます。

パチパチパチパチ！！

※速やかに「テープカット用品」を回収・撤去する。

テープカットされた方は、ハサミやセンターリボンを、

どうしたら良いか分りませんので、黒盆等で速やかに回収しましょう。

黒盆はそのために2枚あると便利です。

パンチカーペットはしばらく様子を見て撤去すれば良いと思います。

「おめでとうございます！」

「それでは開場となりますので、順番にご入場下さいませ！」

<素朴なO&A>

Q 金ポールの間隔はどれくらい？

　　一番離して「約4.5ｍ」程度でしょうか。（センターリボン5ヶ分）

Q 設営の時、紅白テープのたるみはつける？

　　金ポールにくくりつけた場合、どうしてもたるみは出てしまいます。

　　たるみを出したくない場合は、重りで両サイドを固定するか、人が持つなどの工夫が必要です。

Q センターリボンはどこにつけるの？

　　紅白テープに付けて頂きます。結わくだけですので簡単です。

Q テープカットをする時、紅白テープのどこを持つの？

　　センターリボンは持ちません。

　　センターリボンを中心にして、右利きの人はセンターリボンの右側をカットします。

　　その際、左手でセンターリボンの左側を手を添えます。

Q 右利きと左利きの人が隣通しになる場合はどうなりますか？

　　どうしてもカットテープは繋がってしまいます。問題ありません。

Q 胸リボンは左胸につければ良い？

　　通常は左胸に付けます。

Q 「胸リボン」の色は赤・白でどう違うのですか？

　　通常主催者側が「白」、ご来賓が「赤」を使用します。

　　名入れはトラブルが多いです。（名前が違う、テープカットの人が変わるなど）

　　国賓クラスのテープカットでも入れないことが多いので、お薦めはしておりません。

以上